

## モジュール 3 「ジェンダー分析手法」

64

これからは、モジュール1および2で学んだことを踏まえ、事例を使っての学習へと進みます。

ジェンダー分析ツールについては、モジュール2で詳しく見てきましたが、ここでは、分析ツールにとどまらない「ジェンダー分析調査」の実施方法について、見ていきます。

## 学習資料1 & 2の読み込み

次の資料を読み込みましょう。

### 学習資料1

**A国園芸作物生産振興プロジェクト: 詳細計画  
策定調査結果概要**

### 学習資料2

**Project Design Matrix**

65

実践編では、事例に基づいて、説明を進めていきますので、まず、上述の資料を読み込み、理解してください。

## 学習資料 1

A 国園芸作物生産振興プロジェクト  
詳細計画策定調査結果概要

## I. 背景

A 国はアフリカ大陸の中央部に位置する内陸国である。総人口の 55%が貧困ライン以下の生活を余儀なくされており、そのうちの 80%以上が農村部に居住している。A 国では、農業セクターは、GDP の約 4 割、外貨収入の約 7 割を占め、国家経済の重要な役割を果たすとともに、貧困層の多くが農業従事者であることから、貧困削減のための最重要セクターと位置付けられている。

農業セクターにおいては、メイズ、コメ等の穀物生産が伸び悩む一方で、近年の都市化及び中産階級の拡大に伴い、野菜、果物等の園芸作物の消費が増加している。園芸作物分野は、作付け、生産量、売り上げの各側面において年率平均 20%の急成長を遂げており、農業関連のサブセクターの中では唯一、今後の成長が期待されている。また、A 国では、大規模農家が輸出用園芸作物生産に注力する一方で、小規模農家も換金用に、また自家消費用に園芸作物を生産しているため、近年の都市部における需要の拡大は、これら小規模農家の生計向上に直接資することが期待されている。

しかしながら、ごく一部の近郊農村を除いて、大多数の小規模農家は、生産技術向上のための研修機会や肥料等の生産財へのアクセスが極めて限定的であること、価格や需給変化といったマーケット情報や優良な販路を持たないこと等の問題を抱え、世帯単位での収益（現金収入及び収穫量）は伸び悩んでいる。特に、マーケット情報や販売取引に関する知識が乏しいことは、仲買人の言い値で取引せざるを得ない状況につながっている。このため、政府は、小規模農家が出荷・販売を集団で行う事によって、大口需要家等への販売経路を開拓し、より適切な価格で生産物を販売できるように、農家の組織化と運営指導を推進している。

## II. 協力の概要

## 1. 実施機関

農業省作物局（組織図については最終ページ参照）

## 2. プロジェクト対象地域

県内の 8 割以上の小規模農家が園芸作物生産に従事し、かつ高いポテンシャルがあると判断されたキオカ、ズリア、ティトエ、ハマーの 4 県（各県の概要については表 1 参照）。

表1：プロジェクト対象県概要

対象県	気候	農業形態/主要作物	社会状況
キオカ 首都から 400 キロ	亜熱帯気候 標高 800 メートル 年間雨量約 1200 ミリ	天水農業 メイズ、トマト、唐辛子	貧困率：45% 多くの小規模農家が 1ha 前後の土地を所有。主食であるメイズ栽培が盛ん。園芸作物生産は自家消費野菜栽培が中心で、小規模。但し、近年は収入の良い園芸作物生産向けにメイズから土地を少しずつ振り分ける農家も増えてきている。
ズリア 首都から 400 キロ	亜熱帯気候 標高 800 メートル 年間雨量約 1200 ミリ	天水農業 メイズ、サトウキビ、トマト、玉ねぎ	貧困率：57% 多くの小規模農家が 1ha 前後の土地を所有。砂糖工場が県内にあり、多くの農家がサトウキビの契約栽培に従事。土地を持たない青年層がグループで土地を借り上げ、収益率の高い園芸作物生産に従事するケースが増えてきている。
ティトエ 首都から 100 キロ	温帯気候 標高 1800 メートル 年間雨量約 1800 ミリ	天水農業 メイズ、ジャガイモ、キャベツ、インゲンマメ	貧困率：35% 多くの農家が 3ha 前後の土地を保有し、繁忙期には労働者を雇用している。主要作物はメイズだが、首都が近いことから、園芸作物の商業生産も広まってきている。また、広い土地を利用した畜産(乳牛)も盛ん。場所によっては、旱魃に頻繁に襲われ、農作物に深刻な被害が出る。
ハマー 首都から 300 キロ	温帯気候 標高 1500 メートル 年間雨量 1500 ミリ	天水農業 ジャガイモ、サトウキビ、玉ねぎ、葉物野菜	貧困率：60% 県の人口密度が高く、多くの農家が 0.3ha 程度の農地しか保有していないため、世帯当たりの生産量が著しく低い。穀物と比較し、土地面積あたりの収益率の高い園芸作物生産は貧困緩和のカギとされている。

### 3. プロジェクト対象裨益者

キオカ、ズリア、ティトエ、ハマーの各県で園芸作物生産に従事する 120 農民組織及び上記 4 県の農業省職員と農業普及員

### 4. プロジェクト期間

2015 年 5 月から 3 年間

## Ⅲ. 協力の枠組み

### 1. 協力のコンセプト

本案件においては、詳細計画策定調査により把握された上記「背景」を踏まえ、「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」に対する支援を主な柱とする。具体的には、小規模園芸農家により構成される農民組織を対象に、「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」の分野で、農民組織の能力向上に直接貢献しうる研修パッケージの開発を行う。なお、本案件においては、社会的背景や貧困率の異なる 4 県を対象県として選んでおり、地域毎の特性に対応しうる多様なモデルケースを生み出すことで、より多くの県にプロジェクトの成果を波及させる事が出来ると考えられる。また、普及員が研修パッケージを適切に使いこなせるように指導を行う事で、本案件の成果がプロジェクト非対象農民組織にも波及することが期待できる。

### 2. 協力のアプローチ

本案件では、まず専門家と農業省からのカウンターパートで構成されるプロジェクト・チームが、開発したパッケージに基づく研修を、40（各県 10 グループ）対象農民組織に対して実施する（直接アプローチ）。その後、直接アプローチからの経験を踏まえて、研修パッケージの改訂を行った後、プロジェクト・チームが各県の農業普及員を研修し、研修を受けた普及員が、80（各県 20 グループ）対象農民組織を研修する（間接アプローチ）と言う 2 段階のアプローチを採用する予定である（図 1 参照）。

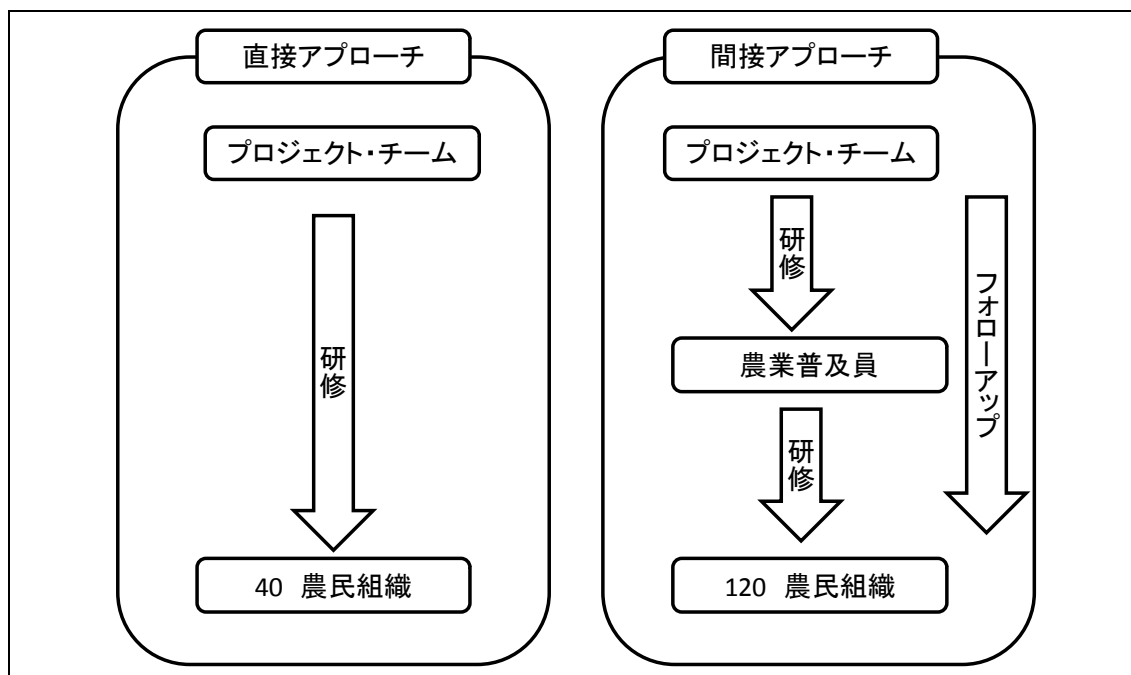


図1：HPIP アプローチ

各アプローチは以下の内容で構成される。

- a. ベースライン調査  
プロジェクト活動の成果を測定するため、各農民組織のベースライン情報（栽培作物、生産量、収益等）の収集を行う。
- b. 教材・マニュアル作成  
「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」についての研修コンテンツ及び教材の作成を行う。「マーケティング促進」分野では、農民組織による生産物の共同出荷が円滑に行われるよう、組織の意思決定プロセスの透明化、適切な会計処理の方法等、組織運営に関わる研修を行う。一方「生産・収穫物管理」では、生産技術や収穫後処理を中心に生産量と生産物の品質改善を目的とした研修を実施する。
- c. 農業普及員及び農民組織に対する研修  
作成した研修教材を活用して、農業普及員及び農民組織に対して研修を行う。直接アプローチでは、プロジェクト・チームが直接農民組織を訪問し、研修を実施する。一方、間接アプローチでは、各県で普及員を対象とした TOT 研修を数回開催し、その研修に基づき、各普及員が担当農民組織を訪問し、研修を行う。
- d. 巡回指導  
研修成果確認のため、プロジェクト・チームが各農民組織を訪問し、適宜指導する。
- e. 次期研修へのフィードバック  
研修成果を踏まえ、研修コンテンツ及び教材を適宜改訂する。

### 3. 協力の基本計画

#### (1) プロジェクト目標

プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の運営能力が強化される。

##### 指標

プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の純収益が XX%増加する（ベースライン調査と終了時評価調査によって得られたデータの比較。%についてはプロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）

#### (2) 上位目標

対象地域の小規模園芸農家の生計が改善される。

##### 指標

対象地域の小規模園芸農家世帯収入が XX%向上する。

#### (3) アウトプット

##### アウトプット1

小規模園芸農民組織を対象としたカスケード方式の研修アプローチが確立される。

##### 指標

確立された研修アプローチ

研修教材

##### アウトプット2

対象農民組織の園芸作物の生産量・品質が向上する。

##### 指標

- ・ プロジェクトにより研修を受けた農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均出荷量（実際に販売された量）の増加率（プロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）。
- ・ プロジェクトにより研修を受けた農業普及員が担当する農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均出荷量（実際に販売された量）の増加率（プロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）。

##### アウトプット3

対象農民組織が園芸作物を適切に販売することができるようになる。

**指標**

- ・ プロジェクトにより研修を受けた農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均収益の増加率（プロジェクト開始後6カ月以内に設定）。
- ・ プロジェクトにより研修を受けた農業普及員が担当する農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均収益の増加率（プロジェクト開始後6カ月以内に設定）。

**(4) 投入****日本側**

長期専門家：3名（チーフアドバイザー/農民組織運営、農業生産技術普及、業務調整/研修計画・管理）

短期専門家：必要に応じ派遣（適正技術開発、視聴覚教材作成等）

供与機材：車輛、パソコン、視聴覚機材等

本邦研修：年間1名程度

在外事業強化費：必要に応じたローカルコスト負担を行う。

**A国側**

施設：プロジェクト事務所及び専門家執務室の提供

C/Pの配置：日本人専門家に対するC/P及び補助職員の配置

ローカルコスト負担：本案件実施に必要な費用を手当とする。

**IV. 評価5項目による評価****妥当性**

本案件は、以下のようにA国政府の優先課題及び対象グループのニーズと合致するとともに、JICA国別事業実施計画とも一致していることから妥当性は高い。

- ・ A国農業セクター開発計画では、農業の商業化を通じた雇用機会の増加と貧困の削減をその目標としている。園芸作物分野はその消費増加に伴い、急成長が予想される農業サブセクターであり、小規模農家の生産性及び収益性向上を目的とした当該セクターに対する支援は、A国の農業政策に合致している。
- ・ JICA国別事業実施計画では、市場に対応した農業開発促進による小規模農家の生計向上支援を謳っている。また、JICAは園芸作物分野において、個別専門家を過去2年間派遣し、小規模園芸農家を担当する農業普及員に対し、農業技術及び農民組織化に係る研修を実施してきた。本案件は、過去の協力をさらに発展させるものであり、わが国の協力方針に沿ったものである。

**有効性**

本案件は以下の理由により有効性が高いと判断される。



- ・ プロジェクト目標「プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の運営能力が強化される」の達成のためには、まず、運営能力強化のための課題に対し、適切な研修が開発されることが必要である（アウトプット1）。適切な研修を受講することで農家は園芸作物の生産量と品質を向上させ（アウトプット2）、さらに組織を通じて販路開拓を行うと共に販売交渉力を向上させることになる（アウトプット3）。このように、プロジェクト目標を達成するために必要なアウトプットが効果的に組み合わせられて実施されることで、協力期間終了時にプロジェクト目標が達成される見込みは高いと判断される。
- ・ プロジェクトのデザインは、前出の個別専門家の活動を基礎としているが、実施機関である農業省の同専門家の活動に係る認識は高く、本案件実施においてもその積極的なイニシアチブが期待できる。

### 効率性

本案件は以下の理由から効率的な実施が見込める。

- ・ 農業省はこれまでも、農業普及員による農民組織に対する研修を実施してきた。本案件では、既に農業普及員に支援されている農民組織からプロジェクトが設定する基準に則って、対象グループを選定することになっていることから、効率的な実施が期待できる。
- ・ 本案件ではプロジェクトが直接農民組織を指導するアプローチ（直接アプローチ）とプロジェクトが指導した農業普及員が農民組織を指導するカスケード方式のアプローチ（間接アプローチ）を採用する。直接アプローチでその効果が十分に精査された研修内容を間接アプローチが引継ぎ、より多くの農民組織への普及を図る事となる。二つのアプローチが効果的に組み合わせられており、質が担保された研修を多くの組織に実施することができる。

### インパクト

プロジェクトでは対象地域で活動する農業普及員全員に対し、研修を実施する予定である。このため、プロジェクトが対象としていない農家グループについても、本案件で開発された研修が実施される事となり、大きな波及効果が望める。

### 持続性

本案件の持続性については、以下のように見込める。

- ・ 農民組織化に係る研修では、メンバーの意思が十分くみ取れる組織運営について指導することで、プロジェクト終了後も農民組織が自立的に維持・発展していく事が期待される。
- ・ 園芸作物分野の急成長に呼応して、農業省においても当該分野に係る予算配分

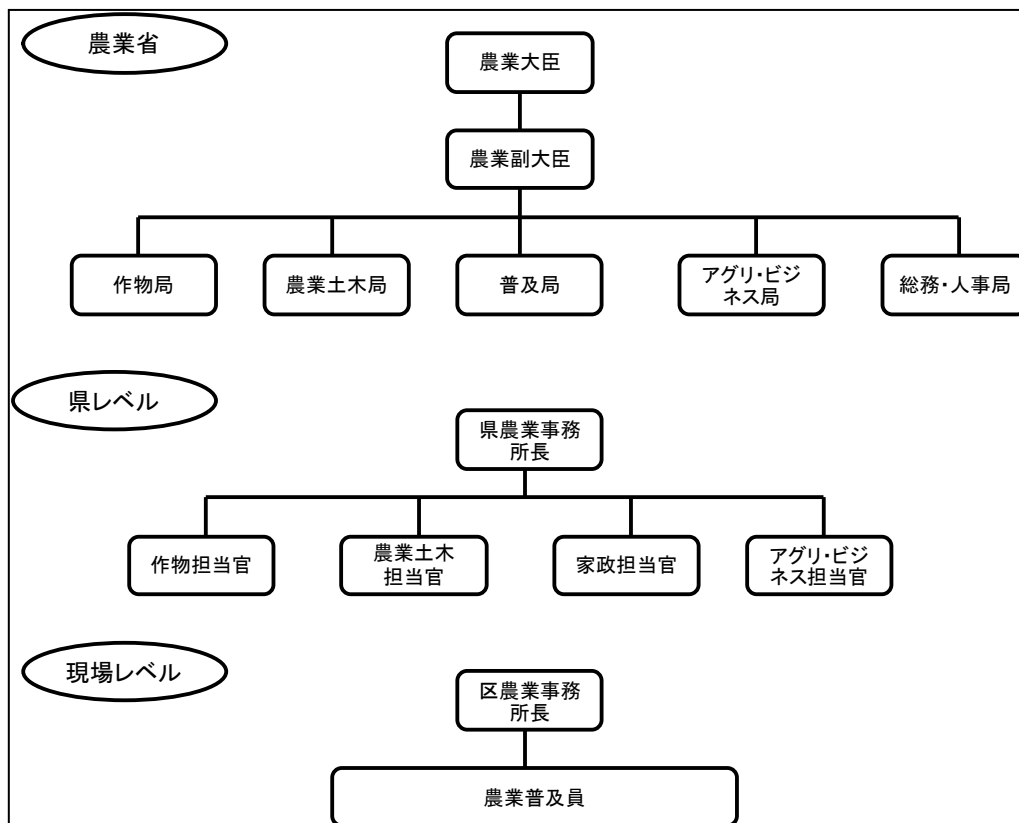
の増加が見込まれ、財政面での持続性は担保されている。

- ・ 研修を通じて、農業普及員の園芸作物生産に係る知識・スキルの向上が達成されることから、技術面での持続性は高い。

#### V. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

農民組織の結成・運営においては、各メンバーが意思決定に参加し、研修機会へのアクセス、活動に伴う負担・利益が公平に配分される仕組み作りに取り組み、内部の格差を生まないように努める。

## 農業省組織図



## (概要)

A 国の農業省は、本省、県農業事務所、区農業事務所の3層で構成されている。農家に対し栽培技術からマーケティングの方法まで、一連の技術指導を行うのは区農業事務所に配属されている農業普及員である。区農業事務所の上には、県農業事務所が配置されており、ここには、作物栽培を専門とする作物担当官、灌漑施設等の保守・整備を専門とする農業土木担当官、農産物加工や販売を専門とするアグリ・ビジネス担当官、農家の生活改善を担当する家政担当官が籍を置き、前線で活動する農業普及員のバックストップの役割を担っている。一方、本省は、農業大臣を筆頭に5つの局から構成される。A 国では、本省の一つの局が県農業事務所及び区農業事務所を主管する形態は取っておらず、県農業事務所は各局からその科目に応じて指示及び支援を受ける事となっている。本案件のカウンターパートは作物栽培に係る技術開発等を担っている本省作物局であり、県レベルのカウンターパートは作物担当官となる。ただし、上述のように、実際に農民組織の指導にあたるのは農業普及員である。なお、ジェンダーについては、本省普及局が、ジェンダーを含む HIV/AIDS、環境等のクロス・カッティング・イシューの啓発を担当しており、同局にジェンダー担当官が配置されるとともに、県レベルでは家政担当官がジェンダー関連業務を兼務することになっている。

## 学習資料 2 Project Design Matrix

Ver. 0, made on 25<sup>th</sup> January, 2015

**Project Name:** Horticulture Production Improvement Project

**Duration:** 3 years (2014/5 – 2017/4)

**Implementing Agencies:** MoA and JICA

**Target Group:** Smallholder horticulture farmer groups and extension staff of MoA in the target area.

**Target Area:** Kioka District, Zuria District, Tytoe District, Hamer District

Narrative Summary	Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumption
<p><b>Overall Goal:</b> Improved livelihoods of smallholder horticulture farmers in the target districts.</p>	Increased net-benefit of the smallholder horticulture groups from horticulture sales in the target district (% to be determined in 6months after launching)	District Development Profiles	
<p><b>Project Purpose:</b> Developed capacity of the smallholder horticulture farmer groups supported by the Project.</p>	Increased net-benefit of the smallholder horticulture groups supported by the project (% to be determined in 6months after launching).	Base-line Survey Reports; Project Evaluation Reports.	Market prices of horticultural crops don't encounter sharp decline. .
<p><b>Outputs:</b></p> <p>1. The approach for the farmer group training is developed.</p> <p>2. The production of better quality crop is increased in the target groups</p> <p>3. The bargaining power of the target groups to market their produce is enhanced.</p>	<p>1-1. Developed training approach 1-2. Developed training materials</p> <p>2-1. Average growth rate of net produce (i.e. deducting the rejected amount) of members of the farmer groups supported directly by the Project. 2-2. Average growth rate of net produce (i.e. deducting the rejected amount) of members of the farmer groups supported by the extension staff who were trained by the Project.</p> <p>3-1 Average growth rate of net income per acre of members of the farmer groups supported directly by the Project 3-2 Average growth rate of net income per acre of members of the farmer groups supported by the extension staff who were trained by the Project.</p>	Base-line Survey Reports; Project Evaluation Reports.	Market demand of horticultural produce and products do not shrink; Market prices of horticultural crops don slump; There is no severe outbreak of pests and diseases; Policy support for road maintenance and network development is not deteriorated.

ACTIVITIES	INPUTS		IMPORTANT ASSUMPTION
	COUNTRY A SIDE	JAPANESE SIDE	
<p>1-1 To conduct a survey on agro-ecological conditions, horticulture production techniques and quality control practice (pre-/post-harvest) in target districts;</p> <p>1-2 To conduct a survey on transactions of horticultural commodities, livelihoods of smallholder horticulture farmers, system of price formation and group formation;</p> <p>1-3 To examine current extension system as well as its strengths and constraints</p> <p>1-4 To develop materials on the followings</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Production technique &amp; quality control of horticulture crops</li> <li>- Group formation &amp; management</li> <li>- Group marketing</li> </ul> <p>2-1 To conduct the Baseline survey on horticulture production of smallholder farmers</p> <p>2-2 To organize the training for extension staff on production technique &amp; quality control of horticulture crops.</p> <p>2-3 To organize the training for target groups on production technique &amp; quality control of horticulture crops.</p> <p>2-4 To organize monitoring visit and follow-up support for farmer groups trained</p> <p>2-5 To revise training materials</p> <p>3-1 To conduct the Baseline survey on horticulture marketing practices of smallholder farmers</p> <p>3-2 To organize the training for extension staff on group formation &amp; management as well as group marketing.</p> <p>3-3 To organize the training for target groups on group formation &amp; management as well as group marketing</p> <p>3-4 To organize monitoring visit and follow-up support for farmer groups trained</p> <p>3-5 To revise training materials</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Counterpart personnel from MoA with relevant expertise</li> <li>- Office space</li> <li>- Local cost</li> </ul>	<p><b>【JICA Experts】</b></p> <p>-3 long-term experts (Team Leader/ Farmer Group Formation and Management, Horticulture Production and Extension, Coordinator/ Training Administration)</p> <p>-Short-term experts (Appropriate Technology) *Others to be dispatched if necessary.</p> <p><b>【Provision of Equipment】</b></p> <p>3 vehicles, 1 photocopier, audio-visual equipments, office equipments</p> <p><b>【Local cost】</b></p> <p><b>【Training in Japan】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Policy support for horticulture sub-sector development does not change drastically.</li> </ul>

## セッションの目的

「ジェンダー分析手法」を用いた「ジェンダー分析調査」の実施手法についての習得

ジェンダー分析調査：  
対象社会の男女間格差を把握した上でそれがどのように人々の生活に影響を及ぼしているか、その是正のためにどのような働き掛けが有効・必要であるかを明らかにすることを目的とする

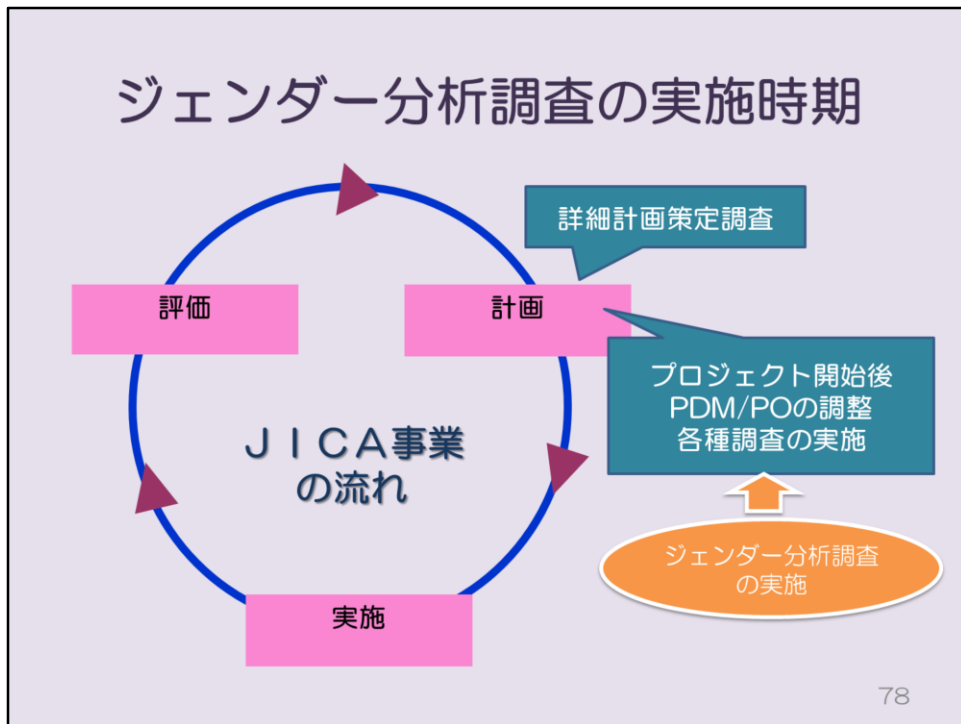
77

学習資料を読み込んでいただいたら、PCMの計画段階で行うこととなる「ジェンダー分析調査」についての説明を始めたいと思います。

本セッションでは、プロジェクトの対象地域の男女農民がどのように互いにかかわりあいながら、生活しているのかを確認することを目的とした「ジェンダー分析調査」の実施方法について、見ていきます。

プロジェクト受益農家が、どのような行動規範を持ち、それに基づいて男女がどのように行動しているのか、またその結果としてどのようなジェンダー課題が生じているのかを把握することは、モジュール2でも見てきた通り、今後、プロジェクトを実施していく上で、非常に重要なポイントとなります。調査を通じて把握された問題点や課題を念頭に、プロジェクト活動を組み立てていくことで、活動のより円滑な実施が期待できます。

なお、ジェンダー分析調査では、対象地域の概況を把握するための定性データの収集が中心となりますので、その点に留意して、以後のスライドを読み進めていってください。



まず、ジェンダー分析調査実施のタイミングです。

前述の通り、「ジェンダー分析調査」は、プロジェクトの立ち上げ期、プロジェクトが対象地域の様々な側面を把握するための各種調査を行い、その結果をプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)に反映させようとする時期に実施するものです。

JICAでは、技術協力プロジェクトの策定にあたって「詳細計画調査」を実施しますので、この段階で「ジェンダー分析調査」を組み入れることは非常に有効です。そうすれば、農家の意識や行動に対して誤った認識や理解に基づいて、プロジェクトの基本計画が作成されることがなくなります。

但し、「詳細計画調査」実施時には、プロジェクトの具体的な対象地域が決められていない場合が多いため、プロジェクト立ち上げ後、プロジェクト活動対象地域が決定した段階で、改めて「ジェンダー分析調査」を対象地域で実施する必要があります。

## ジェンダー分析調査の実施手順

1. 調査目的の確認
2. 調査項目の設定
3. 情報の整理
4. データ収集手法の検討

79

それでは、「ジェンダー分析調査」の具体的な実施方法について、見ていきます。



# 1 調査目的の確認

- 調査目的の明確化

- 本ジェンダー分析調査により特に何を明らかにしたいのか



対象社会の状況とは具体的に何か？

80

まずは、調査目的を確認します。

「ジェンダー分析調査」の目的はプロジェクト対象地域において、受益農家となる男女がどのような行動規範を持ち、それに基づいてどのように行動しているのか、またその結果としてどのようなジェンダー格差が生じているのかを確認することです。

本調査は、通常3～4日程度で行うことを想定しています。従って、調査目的を絞り込んでから、調査に取り掛かることが重要です。また、本調査は、あくまでも特定のプロジェクトの枠組みの中で行うものですので、プロジェクトの目的、活動内容に照らし合わせつつ、対象地域の何について知りたいのかを明確にしなが、調査目的を絞り込んでいく事が肝要です。

本教材の事例であるHPIPは園芸作物生産を営む農家を対象としたプロジェクトです。従って、HPIPの枠組みの中で行うジェンダー分析調査は、園芸作物生産に従事する男女農家の生産活動を中心とした日常生活を確認することを目的として実施することになります。

## 2 調査項目の設定

- 具体的な調査項目の設定
  - 調査目的を達成するためにどのような情報が必要か
    - 本当に必要な情報は何か？
    - 設定された調査期間で調査は可能か？

調査項目のしぼりこみ

81

調査目的が設定されたら、具体的な調査項目について検討していきましょう。

HPIPの受益農家である「園芸作物生産に従事する農家男女」の生活を確認するためには、どのような調査項目を設定すれば良いか考えてみましょう。

HPIPのような農業技術普及プロジェクトでは、プロジェクトの立ち上げ期に、対象農家が活用している道具や技術、また営農方法について確認されると思います。また、農家に技術伝達を行う普及員の知識レベル、普及方法等についても調査されることと思います。一方、ジェンダー分析調査では、性別不詳の「農家」ではなく、男性農家、女性農家を個別に見ていく事を心がけてください。例えば、特定の農業技術を実際に活用しているのは男性なのか女性なのか、と言ったことです。また、農家は園芸作物生産という生産活動に従事していますが、一日中それだけを行っているわけではありません。日々の生活で農家は生産活動と共に、家事をしたり、コミュニティ活動に参加したりしているはずで、生産活動にどのくらいの手間と時間をかけられるかは、当然のごとく、家事やコミュニティ活動との兼ね合いになります。農作業により多くの手間暇が必要となる場合、その時間を捻出できるのかどうか、プロジェクトとして知っておく必要がある点です。

これらの点を踏まえて、ジェンダー分析調査の調査項目を検討します。

### 3 情報の整理

- 調査項目と照らし合わせ、既存情報を確認
  - 詳細計画調査報告書
  - プロジェクトのデザイン（プロ目、アウトプット、活動、投入等）
  - その他プロジェクト資料

さらにどのような情報が必要なのか

82

調査項目がある程度特定されたら、手元にある既存情報と分析調査を実施していく中で入手していく情報とに整理します。

詳細計画調査報告書や他のプロジェクト資料は、ジェンダー分析調査実施にあたって、有益な情報を提供してくれるはずです。

また、もう一度、プロジェクト目標、アウトプット等、PDMを確認し、プロジェクトが何を目指し、どのような方法／活動でそれを達成しようとしているのか、頭に入れ、ジェンダー分析調査項目が、それらと合致しているかを検討してみます。

調査を行う際、せっかく調査するのだからという事で、調査内容を膨らませがちとなりますが、設定された日程内できちんと調査が実施できるよう、くれぐれも注意してください。

## 4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト事務所内で】

- ① 文献調査
  - a. 国別ジェンダー情報整備調査報告書
  - b. 援助機関関係資料（WB、ADB/A f DB、FAO、UNFPA、UNWOMEN等）
  - c. 当該国資料（ジェンダー政策、世帯調査等）
- ② C/P等への聞き取り

83

調査項目が整理出来たら、データ収集方法を検討します。

まず、プロジェクト対象地域に出向かなくても収集できる情報・データを集めます。これまでに様々な援助機関が、多様な調査やプロジェクトを実施し、それらについての報告書を、インターネット上で公開しています。プロジェクト対象国の情報はもちろん、対象地域やその周辺地域に関する情報を見つけることもできるかと思えます。JICAでも各国で「ジェンダー情報整備調査」を実施し、その報告書を公開しています。

調査前に予断を持つことは絶対に避けなければなりません。対象地域の状況についての知識や情報を前もって得ることで、調査のポイントが明確になる場合が往々にしてあります。

また、当該国政府の政策についても、確認する必要があります。農業政策だけではなく、農業分野でどのようにジェンダー主流化を推進しているのかと言った農業分野におけるジェンダー政策を、近年は多くの国が整備しています。必ず、そのような政策があるかどうかを確認し、あれば精読してください。また、政策がない場合でも、指針等を設定している場合がありますので、カウンターパートに確認する等して、必要な情報を入手することが肝心です。さらに、政策と共に、その政策を日々の業務に反映していくために、職員向けの研修、あるいは予算措置と言った具体的な方策を講じているのかも、忘れずに確認してください。

## 4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト対象地域で】

- ① アンケート調査
- ② インタビュー調査
- ③ グループ・ディスカッション
- ④ 観察

注意点は？



84

次に、プロジェクト対象地域に出向いてしか、集められない情報の収集方法について検討してみます。

スライドに示された4つは、社会調査を行う際に極めて一般的に用いられる手法と言えます。

但し、本分析調査が3～4日程度での実施を念頭に置いていることを考えると、①のアンケート調査を調査期間中に行うのは難しい面が多いと思われます。これは、アンケート調査の精度を確保するためには、ある程度の人数の回答者を必要とするからです。また、アンケート調査においては、当該地域や対象住民に関する知識がない場合、適切な質問項目及びその選択肢を設定することが容易ではないため、プロジェクト立ち上げ期の当該地域における知識や情報が少ない段階で、効果的なアンケート調査を行うのは難しいと考えられます。

一方、②と③は、「農家の声を聴く」ための有効なツールとして活用を検討してください。また、④についても、調査中に収集された情報の正否を確認することのできる有効な手法です。インタビューやディスカッションの参加者は、嘘を言うつもりではなくても、思い込みや他の参加者の意見に流されて、事実とは異なる発言をする場合があります。それらを見極めるためにも、客観的な判断材料を提供してくれる④の観察は、有効な調査手法と言えます。

## 4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト対象地域で】

### ⑤ 分析ツールを活用した調査

- a. Activity Profile
- b. Daily Activity Profile
- c. Access & Control Profile

ジェンダー情報  
収集のための  
基本ツール

85

⑤の分析ツールは、モジュール2でもご紹介したように、ジェンダー情報収集のために特別に開発されたツールです。

これらのツールは、対象地域の農家世帯男女がどのように互いにかかわりあいながら生活しているのかについての重要な情報を提供してくれます。

分析ツールの活用にあたっては、当該地域でプロジェクトの受益者となるであろう農家世帯の男女それぞれ、5～7人程度に集まってもらう必要がありますので、事前に、対象地域の関係者に調整してもらうよう依頼する必要があります。

各ツールの説明については、モジュール2の該当スライドを参照ください。

## 5. 演習問題

86

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための演習問題に、ここで取り組んでみてください。

## 演習問題：分析調査準備

学習資料及びこれまでの説明内容に基づき、HPIPのジェンダー分析調査の調査デザインと質問項目について以下の点を検討し、取りまとめてください。

### I. 調査デザイン

①調査目的 ②調査対象者 ③調査手法

### II. 質問項目

①聞き取り調査対象者、調査手法、質問項目  
(対象者毎に質問項目を取り纏めること)

②参加型分析ツール表

(Activity Profile及びAccess & Control Profile)

87

それでは、これまでの説明を参考に、学習資料1、2をもう一度読み込みながら、ジェンダー分析調査の準備作業となる演習問題に取り組んでみてください。



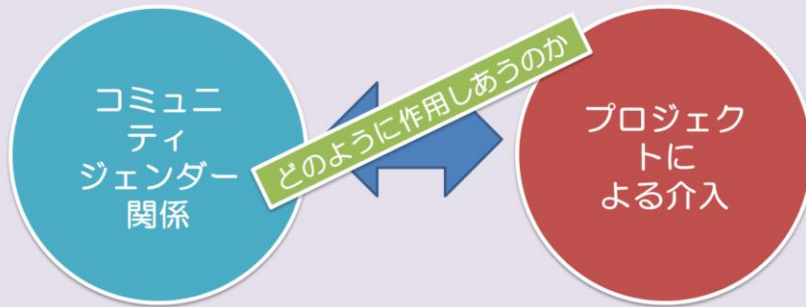
## 6. まとめ

88

それでは、モジュール3の演習問題に係る留意点を一つ一つ見ていきたいと思います。

# 調査目的

## 1. コミュニティの状況を知る



プロジェクトは既存のジェンダー関係にどう作用するのか？  
既存のジェンダー関係はプロジェクトの介入にどう反応するのか？

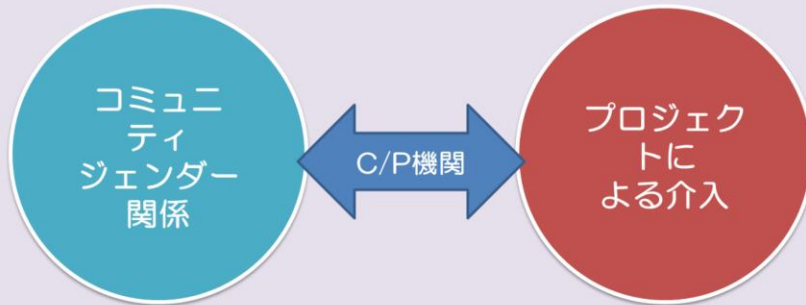
まずは、調査目的です。

前述のように、ジェンダー分析調査はプロジェクトの枠組みの中で実施するものです。従って、本調査では、まず対象地域の農家男女がどのように行動しているのかを確認し、そこに男女間の格差が存在しているかどうかを見ていきます。その上で、もう一步踏み込んで、男女の行動や男女間の不平等な力関係が、プロジェクトが計画している介入／活動によってどのような影響を受けるのか、また、反対にプロジェクトの介入／活動が、どのように影響を受けるのかについてみていくようにして下さい。

HPIPは、園芸作物生産向上を目指すプロジェクトです。従って、園芸作物を生産している農家が、どのように生活し、どのように園芸作物生産に従事し、そこにはどのような男女の差異や不平等があるのかを、まず確認することが必要です。その後、それを踏まえ、その地域でHPIPの活動が実施されたら、農家の行動や既存の関係がどのように活動と影響しあうのかを見ていく事が、HPIPで実施するジェンダー分析調査の目的の一つとなります。

## 調査目的

### 2. プロジェクト実施者（C/P機関）体制・認識を知る



C/P機関はジェンダー課題についてどう対応しているのか／するだろうか？

さらに、プロジェクトの実施機関であるカウンターパート機関が、プロジェクトの「ジェンダー主流化」について、どのような認識を持っており、その機関で働く職員が「ジェンダー主流化」に係るどのような技能を有しているのかを確認することも、本調査の重要な目的の一つになります。これは、JICAの技術協力プロジェクトは通常、カウンターパート機関職員が各活動の実施を担うことになるため、これら関係者の知識や技能を事前に把握し、それに基づいて方策を練る必要があるからです。

ここでは、単に政策や中央政府の方針にとどまることなく、対象地域で実際に活動する行政官や普及員が、園芸作物生産における男女の働きぶりをどのようにとらえているのか、それについて何か問題や課題があると思っているのか、もしそう思っているのならば、その問題や課題を解決していくための技能を、職員が保持しているのか等についても見ていく必要があります。

## 調査目的

1. コミュニティのジェンダー関係の把握
  - 男女の労働分担状況（生産・再生産・コミュニティ活動）
  - 男女の意思決定への関与状況（世帯・コミュニティ）
2. C/P機関の体制・認識の把握
  - C/Pのジェンダー政策
  - 行政官・普及員のジェンダーに係る知識



プロジェクト活動への影響  
プロジェクト活動からの影響

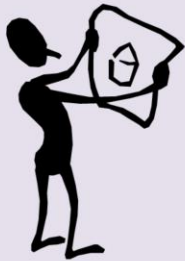
91

調査目的を取りまとめると、このような感じになるかと思います。

つまり、コミュニティのジェンダー関係を把握すると共に、カウンターパート機関の体制や職員の技能を見極め、それらが、プロジェクト活動とどのように関係しあうかを見ていく事が調査の目的となります。

## 調査対象者

- 政府関係者（県職員、普及員）
- ターゲットコミュニティ（キーインフォーマント、農家グループ、男女農家）



政府関係者やキーインフォーマントの性別にも注意を！

92

次に調査対象者です。

二つの調査目的を達成するための、調査対象者は、カウンターパート機関職員、そして対象地域の農家男女、さらに地域の実情に精通しているキー・インフォーマント等が挙げられます。

これらの調査対象者を特定する際、出来るだけ、対象者の男女比が等しくなるように工夫してください。カウンターパート機関職員については、難しい場合がありますが、農家男女及びキーインフォーマントはできるだけ男女同数となるように配慮し、異なる立場の人たちから意見や考え方を得られるように努めてください。

## 調査手法

文献調査、インタビュー、  
グループ・ディスカッ  
ション、参加型分析ツ  
ール等

注意点は？



93

調査手法は、前述のように、社会調査で良く用いられるインタビュー、グループディスカッションと共に、男女間の相違を明らかにすることを目的とした分析ツールを用いての調査も是非実施してください。



センシティブな情報は参加メンバーを工夫する（男/女、行政官/農家、上司/部下等）

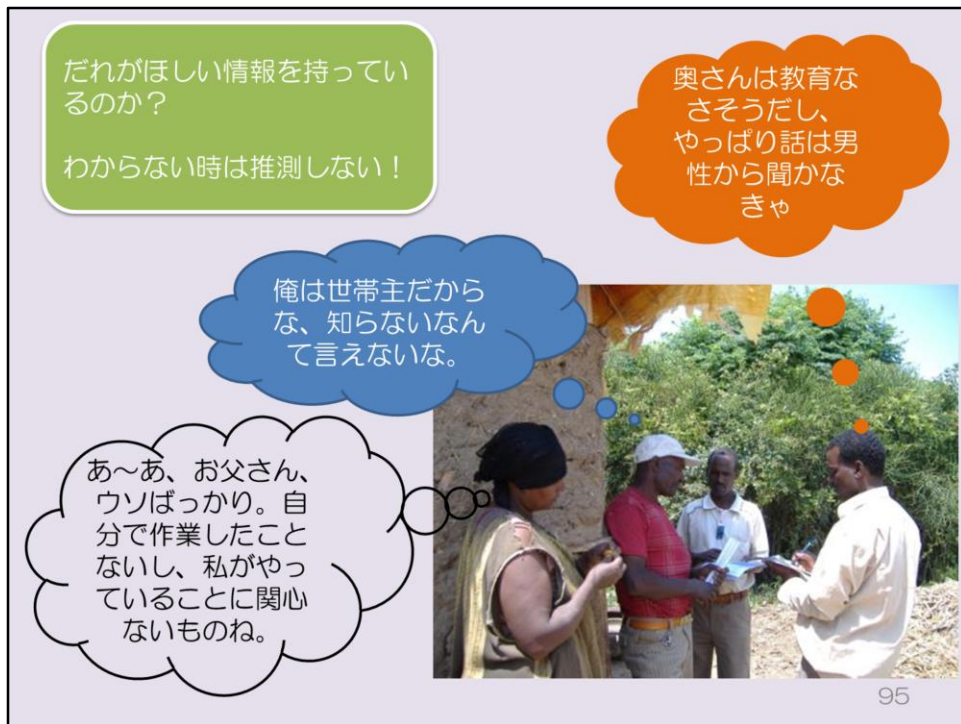
可能であれば、通訳にも配慮

参加者皆がディスカッションに参加できるようにファシリテートする。

複数の参加者を得て調査を実施する、グループディスカッション、グループインタビューあるいは分析ツールを使った調査の実施に際しては、調査対象者が、自由に意見が述べる事が出来るよう、配慮することが肝要です。

男性の前で自由に意見を述べることを戸惑う女性は多いですし、お世話になっている普及員の前で、普及活動の問題点を指摘することをためらう農家も少なくないでしょう。利害が対立すると思われる調査参加者を別々のグループに分け、本音が聞きだせるような工夫が必要です。なお、多人数でディスカッション等を行う場合、活発に発言する人がいるのに対し、ほとんど発言しない人も出てきます。発言していない人たちにも、適宜質問するなど、全員がディスカッションに参加できるよう工夫することも必要です。そうでないと、発言する人の意見のみが調査結果に反映されることになってしまいます。

また、現地語を調査者が解しない場合、通訳を雇用することがあると思いますが、通訳が自分の意見を反映して、通訳を行わないよう、通訳者に注意を促すと共に、現地語を若干でも理解する人たちに確認を求めるなどの配慮が必要です。



例として、この写真を見てください。

これは、酪農プロジェクトで、改良牛を農家に試験的に飼育してもらっている農業研究所の研究員が牛の飼育状況を確認するために、農家を訪問した時の様子です。白いシャツの二人の研究員は、世帯主の男性だけに聞き取りをしていますし、男性も隣にいる奥さんに発言を求めることはしていません。しかし、調査員の聞き取りが終わった後、個別に奥さんに確認すると、この家で、実際に牛の世話をしているのは、彼女でした。

男性だから、世帯主だから、と知らず知らずに、自らの思い込みや先入観で、この研究員と同じようなことをしていないかを常に意識することが必要です。



## 調査内容：農家

コミュニティ  
ジェンダー  
関係

プロジェクト裨益者のジェンダー状況の確認

- どのように生活しているのか
- どのようなジェンダー関係なのか
- どのような課題を抱えているのか

プロジェクトの枠組みを反映させながら  
探っていく

96

調査内容は、これまでに述べたように、プロジェクトの枠組みの中で、男女の生活、男女間の相違、相違から生ずる課題等に着目したものになるよう検討してください。

## 調査項目：農家

- 調査項目

- (ジェンダー状況)

- 労働分担/意思決定/リソースへのアクセスとコントロール/男女の役割に係る認識(規範)/認識されている課題等

- (農作業/マーケティング)

- 重要作物/労働・責任分担/意思決定/利益配分等

- (農家グループ)

- 設立目的/参加者構成/参加状況/強みと課題/意思決定プロセス/プロジェクトへの期待等

97

本演習課題での具体的な農家に係る調査項目は、主としてこれらとなるかと思いません。

## 調査内容：C/P機関

C/P機関の  
現状と認識

活動実施機関は、ジェンダー  
問題に対する認識と現状

- 政策は？
- 幹部の意識は？
- 現場レベルの意識は？

プロジェクトの枠組みを反映させながら  
探っていく

98

カウンターパート機関に係る調査項目はこれらが挙げられます。

政策や政府方針に「ジェンダー主流化」の重要性が明確に謳われていたとしても、それらが現場レベルでの活動に反映されているとは限りません。現場の人たちが何を考え、どのように行動しているのかを確認することが重要です。

## 調査項目：C/P機関

### (政策・制度面)

- ジェンダー政策/実施体制/予算/活動/職員研修等

### (技術面)

- ジェンダー理解の程度/アプローチ等

### (対象地域)

重要な作物（栽培・販売）/マーケティング/地域のジェンダー状況等

男女の差異を明らかにすることを中心に！

99

本演習問題では、C/P機関に係る調査項目は主にこれらがあげられます。

対象地域に係る調査項目は、農家に対する調査項目と同様のものですが、政府職員と農家では、同じ調査項目でも、異なる情報や認識を持っているので、両者から聞き取ることが重要です。

# 参加型分析ツール

園芸作物の場合  
(例)

Activity
Planting
Weeding
Spraying
Harvesting
Marketing
Income Control

	Men	Women
Productive Activities		
Agricultural/Livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
Reproductive Activities		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
Community Activities		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

プロジェクト活動に  
合わせて、  
各活動を選定

100

参加型分析ツールについても、少し確認しましょう。

「Activity Profile」の作業、「Access and Control Profile」のリソース／資源について、特定することが出来たでしょうか。

繰り返しになりますが、生産活動で取り上げる作業は、プロジェクトと関係している作物に係る作業です。HPIPの作物は「園芸作物全般」ですので、調査対象地域で一般的に生産されている園芸作物を調査参加者に特定してもらい、その作物に係る具体的な作業を取り上げていくと良いと思います。

また、「Access & Control Profile」ツールにおいても、特定された作物生産に必要な不可欠なリソースをリストアップするようにして下さい。

## その他留意点

- 情報は**トライアングレーション**させる。
  - 異なる手段で、様々な人から、同じ情報を集め、その内容を精査する。
- 情報は**男女別**に収集し、加工する。

101

こちらでも繰り返しのようになりますが、情報は複数の情報源で確認するトライアングレーションを必ず行ってください。例えば、男性農家のグループディスカッションで出てきた情報が、女性農家、キーインフォーマント、あるいは分析ツールを使った調査等からの情報と整合性があるかどうかを確認してください。調査者の側に思い込みがあると、その思い込みに沿った情報を無条件に信頼しがちです。留意すべき点と言えます。

また、誰から得た情報かを必ず、情報収集の際は記録してください。

アンケート調査を本分析調査実施中に行うことはあまりないかと思いますが、アンケート調査の質問票に回答者の性別を記入してもらいながら、その後のデータ取りまとめで、性別を全く考慮せず、全データを一緒に処理してしまう場合があるようです。性別は貴重な情報の一つですので、くれぐれも無駄にしないようにして下さい。

## 参考資料

- Gender Analysis Study Outline

102

参考資料として、あるプロジェクトで実施したジェンダー分析調査の調査デザインおよびグループ・ディスカッションやインタビューで活用した質問票を参考資料として添付します。

また、別添資料の能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果も参考になるかと思えます。

## **GENDER ANALYSIS STUDY OUTLINE**

<b>Objectives</b>	Assess the gender situation of the target area and provide the basic information on gender for the gender mainstreaming of the Project
<b>Date</b>	December 2015
<b>Place</b>	Four districts (localities to be decided)
<b>Interviewees/ Participants</b>  (Gender balance to be taken into account)	<p><b><i>Semi-structured Interview</i></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Agriculture Officers / Gender Officers in the districts (2-3 officers)</li> <li>● Extension Officers (2-3 officers)</li> <li>● Key Informants (Village Leaders, Women's group leaders, etc. 2-3 people)</li> </ul> <p><b><i>Group Interview</i></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Farmer Group Management</li> </ul> <p><b><i>Gender Analysis Exercise</i></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10 men farmers and 10 women farmers from Farmer Groups A and B</li> </ul>

### **Study Schedule**

Time	Agenda
Day 1	
9:00 – 10:00	Courtesy Call to Agriculture Office
10:00 – 11:00	Group Interview: Agriculture officers / Gender officers
11:00 – 12:00	Group Interview: Extension officers
12:00 – 13:30	Move to the village / Lunch
13:30 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management
Day 2	
9:30 – 13:00	Gender Analysis Exercise : Group A
14:00 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management
Day 3	
9:30 – 13:00	Gender Analysis Exercise : Group B
14:00 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management



## **Interview Questionnaire: Government Officers**

(Government Policy)

1. Please briefly explain about policies and strategy of the government on gender.
2. Is there any gender related activity under implementation in the district?
3. Is there any budget allocated in your office to implement gender related activities?

(Capacity of Government Officers on Gender Mainstreaming)

4. Have you ever received any gender training? How do you think your skills and knowledge on gender?
5. How do you evaluate skills and knowledge of extension officers on gender?

(Community Information)

6. Please briefly explain about features of the community: Major crops, major productive activities, major socio-economic problems, etc.
7. Is there any perceived gender issues in the community?

(Any other information)

8. Any other issue which HPIP should be aware of?

### **Interview Questionnaire: Extension Officers**

(Capacity of Officers on Gender Mainstreaming)

1. Have you ever received any training in gender?
2. Have you ever received any instruction from your office on integration of gender aspects in your work? If so, what do you do?
3. How do you evaluate your skills and knowledge on gender?

(Community Information)

4. Briefly explain about features of the community: Major crops, major productive activities, major socio-economic problems, etc.
5. Briefly explain how men and women farmers are engaged in farming. Is there any men's crop or women's crop? Is there any cultural taboo in farming activities?
6. Briefly explain how men and women farmers are engaged in marketing of agriculture produce?
7. Is there any perceived gender issues in the community?
8. What do you think of reaction of the community if HPIP introduces the gender concepts into activities? Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?

(Any other information)

9. Any other issue which HPIP should be aware of?

## **Interview Questionnaire: key Informant**

(Community Information: Gender Issues)

1. Please briefly explain about the following issues in your community.
  - a. Gender division of labor in farming and household chores
  - b. Access to and control of resources in the household
  - c. Participation of women in household / community decision-making
  - d. Participation of men and women in community activities
  - e. Any socio-economic problems of the community

(Community Information: Productive activities)

2. What are the major crops of this community?
3. What are major problems / constraints in terms of agriculture production in this community?
4. How are men and women engaged in farming in this community? Is there any cultural taboo in farming activities?
5. How are men and women engaged in marketing of agriculture produce? Have you ever received any training in gender? Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?

(Farmer Groups)

6. Why do farmers organize a group in this community? What are their objectives?
7. Who participates in a group, men or women?
8. What activities do they do as a group in general?
9. How do you evaluate their performance?

(Any other information)

10. Any other issue which HPIP should be aware of?

## **Interview Questionnaire: Farmer Group Management**

(Group Information)

1. Please briefly explain about the followings about your group.
  - a. Brief history
  - b. Membership / Management (gender composition)
  - c. Activities
  - d. Perceived benefits of forming a group
  - e. Constraints / Challenges
  - f. Gender issues (gender balance, participation, etc.)

(Interest to HPIP)

2. How do you think your members participate in HPIP activities?
3. Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?